

## 吹田市休日急病診療所運営協議会議事録（概要）

- [1] 開催日時 平成29年（2017年）11月2日（木）午後2時～3時
- [2] 開催場所 保健センター3階 研修室
- [3] 出席委員 12名 川西 克幸会長、山田 昌秀副会長、御崎 治委員、中島 哲委員、  
疋田 陽造委員、谷口 学委員、大森 万峰子委員、杉野 己代子委員、  
林 靖之委員、木内 武良委員、藤原 雅宏委員、石田 就平委員
- [4] 欠席委員 4名 相馬 孝委員、寒原 芳浩委員、平山 博委員、中村 吉晴委員
- [5] 市出席者 6名 地域医療推進室：乾 詮部長、舟津 謙一審議監、山本 重喜次長、  
清水 桐郎主幹  
休日急病診療所：河野 誠三管理医師、中矢 典男事務長、  
安井 寿行主査、堀 保之

### [6] 会議次第

- 1 乾部長挨拶
- 2 川西会長挨拶
- 3 案件

- (1) 平成28年度（2016年度）及び平成29年度（2017年度）上半期 休日急病診療所の業務状況について（報告）
- (2) 平成28年度（2016年度）休日急病診療所の年末年始医療体制について（報告）
- (3) 平成29年度（2017年度）休日急病診療所の年末年始医療体制（案）について（協議）
- (4) 豊能広域こども急病センターの受診者数について（報告）
- (5) 市立休日急病診療所移転整備事業について（報告）
- (6) その他

### [7] 案件協議

- (1) 平成28年度（2016年度）及び平成29年度（2017年度）上半期 休日急病診療所の業務状況について（報告）

【会長】 皆様、貴重な意見をいただきたいと考えていますので、最後までよろしく願います。

それでは、案件（1）平成28年度（2016年度）及び平成29年度（2017年度）上半期 休日急病診療所の業務状況について事務局から説明をお願いします。

【事務局】 資料に基づき説明

【会長】 説明が終わりましたが、各委員から御質問、ご意見等いただきたいと思います。

【委員】 4ページ受診状況一覧表の医師判断の人数が疾病別受診者数の人数と合いませんが、記載していない医師がいるということですか。

【事務局】 その通りです。

【委員】 歯科の医師にお聞きしますが、非救急の40人はどのような人を判断されているので

すか。

[委員] 例えば歯の金属の詰め物が取れたとか一日待ってもらっても大丈夫かなということがあります。

[会長] 現在の場所への移転直後の平成 27 年度はニュータウンの方は減っていましたが、平成 28 年度は戻ってきていますか。

[事務局] 千里ニュータウン地域は平成 28 年度も若干減っていますが、その他の地域は増加傾向にあります。

[委員] 薬剤師会では、後発医薬品を使用した方がよいということになり、医師会や歯科医師会と協議しながら変更してきています。現在は注射薬、特に抗生剤の注射薬は値段が 3 倍程度高いため変更を検討しています。運営費収支状況表の需用費で、医薬材料費もひとくくりになっていますが、医薬材料費は別に数字を挙げたほうがいいと思いますがいかがですか。

[事務局] 医薬材料費は、需用費のほとんどを占め、支出額に大きく影響するため、後発医薬品導入の影響を見るためにも、今後は、医薬材料費として別に数字を挙げさせていただきます。

[委員] 今後も徐々に変更を検討していきますので、費用が変わってくるのを見たいと思いますのでよろしくお願いします。

[会長] 薬品等の在庫管理は問題なく運営できていますか。

[事務局] 順次進めているところです。それと並行してジェネリックを入れる話もうまく進むと思います。

[会長] 休日診療所は処方箋も手書きですので、処方のやり方を考えないと処方分からなくなることもありますので、解決策を考えていただきたいと思います。

[事務局] ジェネリック使用の一番の問題は、医師が薬剤を処方した後、最初に事務で計算し、その後薬剤師に回ることです。先発医薬品のジェネリックへの変更は、医師か薬剤師しかできないので、現在、解決策を鋭意検討中です。

[会長] 診療所の先生方も現在ではほとんど電子カルテ等を導入し、字を書くことがなくなってきていますので、休日診療所で執務したときに紛らわしくならないようにお願いします。

[会長] 他に質問等がなければ、議事を進めてまいります。

## (2) 平成 28 年度 (2016 年度) 休日急病診療所の年末年始医療体制について (報告)

[会長] 続きまして案件 (2) 平成 28 年度 (2016 年度) 休日急病診療所の年末年始医療体制について事務局から説明をお願いします。

[事務局] 資料に基づき説明

[会長] 説明が終わりましたが、案件 (2) について、ご意見、ご質問がありましたらよろしくお願いします。

[会長] 振り返りますと、平成 26 年度の 12 月 30 日の内科は 2 人、小児科は 1 人ということで、私が小児科の応援をしたことがありましたが、事務局として新たに準備してい

ることはありますか。

[事務局] 休日診の患者数の増減は、インフルエンザの患者数の増減に影響されますので、インフルエンザの動向を見ながら、先生方に相談させていただきたいと考えています。

[会長] 薬剤師会も準備いただいているみたいですね。

[委員] 流行り出すと1人予備を置くことにしています。

[会長] 正月など薬剤はある程度確保できていますか。

[事務局] 業者をお願いして、年末年始に入る前にたくさん仕入させていただき、年始が終了したときに残った分はお返りするような形のお願いをしていますので、薬剤師会と相談させていただきながら進めたいと考えています。

[会長] 他に質問等がなければ、次に進めさせていただきます。

(3) 平成29年度(2017年度)休日急病診療所の年末年始医療体制(案)について(協議)

[会長] 続きまして案件(3)平成29年度(2017年度)休日急病診療所の年末年始医療体制(案)について事務局から説明をお願いします。

[事務局] 資料に基づき説明

[会長] 基本的には例年通りですが、何かご意見がございましたらお願いします。

[委員] 歯科医師会は、平成28年度の実績からいえば、歯科医師、歯科衛生士とも2人体制で何とか対応できると考えています。

[委員] 薬剤師会も元々29日は3人体制でしたが、ほとんどの病院が開いており、通常の日曜日と患者数も変わらないということで、何年前前から2人体制にしています。しかし、インフルエンザが急に流行りましたら対応をお願いしたいと思います。

[委員] 救急搬送に関しましてですが、12月30日から1月3日までの外科系で耳鼻科の医師がおられるということですが、救急では、耳鼻科、眼科の搬送先で困るところでありまして、まずは中央急病診療所が第一選択で、中央急病診療所が混雑等で見られないという状況の時に、当該休日診で対応は可能でしょうか。

[事務局] 今年度も一度救急隊から搬送の依頼電話があったことがありましたが、当診療所は初期救急の体制しかとっていませんので、色んな検査をすることもできないことから救急搬送されても診療は難しいと考えています。

[委員] 例えば一次搬送である程度止血していただいたのち、本格的な検査のために転送とか、一次救急処置だけでもできませんか。

[事務局] 吹田市の耳鼻科医会にどのくらいまで対応できるか問い合わせ、消防本部に直接連絡するよう伝えます。

[委員] 当救急センターでは大概の鼻出血は止めることはできますが、患者さんや家族が耳鼻科でしかいやだと言われるとできませんので、そのあたりは救急隊で考えていただいて、耳鼻科で見てもらえるなら耳鼻科で見てもらい、ダメなら当センターにご相談いただければと思います。

[委員] もし休日診療所に救急搬送された場合は、診療の間に入ることになるのですか。

[会長] ナースがトリアージし、医師と相談することになります。豊能広域こども急病セン

ターでも、夜 12 時を過ぎると 1 人体制になりますので、救急車に同乗すると診療ができなくなるので、軽傷以外は難しいということになります。点滴をつなぐと医師が同乗しないといけません、ヘパリンカッターで止めて、転送することもできますので、検討した方がよいかもかもしれません。

[会長] 他に質問等がなければ、次に移ります。

(4) 豊能広域こども急病センターの受診者数について（報告）

[会長] 続きまして案件（4）豊能広域こども急病センターの受診者数について事務局から説明をお願いします。

[事務局] 資料に基づき説明

[会長] 説明が終わりましたが、各委員から質問等ございませんか。

[会長] 5 年以上前のことですが、はしかの子が受診し、たまたま近くにいた 0 歳児の子が感染したことがありました。インフルエンザも同様ですが、十分注意しないといけないという教訓です。当施設では難しいところもありますが、移転後には十分考えていただく必要があると思います。

[会長] 他にありませでしょうか。ないようでしたら次に移ります。

(5) 市立休日急病診療所移転整備事業について（報告）

[会長] それでは、資料（5）市立休日急病診療所移転整備事業について報告願います。

[事務局] 資料に基づき説明

[会長] 説明が終わりましたが、各委員から質問等ございませんか。

[委員] マクドナルド・ハウスは駐車場が少ないように思いますが、現在何台くらい止めることができ、また増設はどうされるのですか。

[事務局] 現状は 11 台ですが、最低でも倍以上止められるような形では考えています。

[会長] そのほか何かご意見はありませんか。設計はこれからということなので、今後お互いに相談するというところでよろしいかと思います。保健所の意見も聞いていただかないといけませんのでよろしくをお願いします。

[会長] 休日診療所が北の方に行けば市民病院の先生方に負担をおかけすることになるのではと心配しています。

[副会長] その通りかもしれませんが、少なくとも年末年始は医師を多く配置していますので対応できるかと思えます。

(6) その他

[会長] その他で事務局から何かありますか。

[事務局] 特にごございません。

[会長] 他にないということですので、以上をもちまして本日の吹田市休日急病診療所運営協議会を閉会いたします。委員の皆様ご苦勞様でした。

以上